

令和 7 年度

「運営に関する計画」



大阪市立弁天小学校

令和 7 年 4 月

(様式 1)

大阪市立弁天小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

令和 6 年度の大阪市学力経年調査においては、全学年で大阪市の標準化得点を下回る結果となつた。「学ぶ楽しさ」を感じることができる授業づくりと一人一人の個の特性の見取りが必要不可欠であり、担任を核とした全教職員がチームとして児童の見取りにあたる組織作りと、基礎・基本的な学習内容の確かな定着と「主体的・対話的で深い学び」を実現するための指導法の工夫が必要である。そのために教員一人一人の授業力と指導力の向上が不可欠であり、外部有識者を招いた研究都研修を継続的に実施していく一方で、不登校傾向の児童も現在は週 3 ~ 4 日程度登校できており、継続して児童一人ひとりを大切に寄り添った組織的対応を行うために、常に組織としての対応の在り方を見直し、安全・安心な生活環境づくりに取り組む。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 80% 以上にする。
- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を令和 4 年度末より減少させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における各学年の各教科の標準化得点を、いずれの学年も令和 4 年度よりも 4 ポイント向上させる。
- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査における体力合計点を男女ともに令和 4 年度より上回るようにする。 (令和 4 年度 男子 : 53.35 女子 : 56.00)

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和 7 年度末の教育アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末（こころの天気を含む）を活用している」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童の割合を 90% にする。
- ゆとりの日については、決められた時間までに退勤する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 3 日以上、夏季休業期間以外の休業期間においては 1 日以上設定する。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

- 令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。
(前年度 1. 92%)
- 本市調査における「いじめの可能性に気づいた時点で、直ちに管理職（校長・教頭等）に報告している」とする教員の割合を 100% にする。
- 令和 7 年度の教育アンケート（児童用）の「自分から進んでいさつをしている」の項目において、肯定的な回答の割合を 85% 以上にする。（前年度 81. 8%）

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

- 令和 7 年度の教育アンケート（児童用）の「算数の授業は好きですか」の項目において学校全体での肯定的な回答をする児童の割合を前年度（75. 5%）より向上させる。
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 40% 以上を維持する。（前年度 38. 8%）
- 令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びも含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72% 以上にする。
(昨年度 70. 7%)

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を利用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教員の割合を 92% 以上を維持する。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立弁天小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった	
年度目標	達成状況
<p>【安全・安心な教育の推進】</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和 7 年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。 (前年度 1.92%)</p> <p>○本市調査における「いじめの可能性に気づいた時点で、直ちに管理職（校長・教頭等）に報告している」とする教員の割合を 100% にする。</p> <p>○令和 7 年度の教育アンケート（児童用）の「自分から進んでいきさつをしている」の項目において、肯定的な回答の割合を 85% 以上にする。（前年度 81.8%）</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p> <p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】 不登校児童について、校内の組織や子どもサポートネットや関係諸機関との連携を活用し、登校しやすい環境づくりに取り組む。 (不登校への対応)</p> <p>指標 校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度末より減少させる。</p> <p>取組内容②【2 豊かな心の育成】 児童会を中心とした「あいさつ運動」や地域と連携した「愛のひとこえ運動」を中心に学校生活の様々な場面で自分から進んでいきさつをしようとする態度を育てる。 (道徳教育の推進)</p> <p>指標 児童会を中心とした「あいさつ運動」を学期に 1 回以上行う。 教育アンケート（児童用）の「自分から進んでいきさつをしている」の肯定的回答を 85% 以上にする。</p>	達成状況
年度目標の達成状況や取組の達成状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立弁天小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力、体力の向上】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○令和 7 年度の教育アンケート（児童用）の「算数の授業は好きですか」の項目において学校全体での肯定的な回答をする児童の割合を前年度（75.5%）より向上させる。</p> <p>○令和 7 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「当てはまる」と回答する児童の割合を 40% 以上を維持する。（前年度 38.8%）</p> <p>○令和 7 年度の小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びも含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 72% 以上にする。（昨年度 70.7%）</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>算数科の研究を進めることで、できる喜びやわかる楽しさを味わわせる。 (言語活動・理数教育の充実)</p>	
<p>指標</p> <p>教育アンケート（児童用）における「算数の授業は好きですか」の項目において肯定的な回答をする児童の割合を昨年度（75.5%）より向上させる。</p>	
<p>取組内容②【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>自分の考えを様々な方法（話す・書くなど）で発表する力、人の話を聞いて、自分の考えと比べたり、よりよい考えを作り出したりする力を身につけさせる。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進)</p>	
<p>指標</p> <p>教育アンケート（児童用）の項目について「友達の意見を聞いたり自分の考えと比べたりして発表することができる」の肯定的な回答を 80% 以上を維持する。（前年度 80.6%）</p>	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>体育科の授業の工夫や委員会活動を主体とした学期 1 回の体育的行事の計画・実行や児童集会を活用を通じた児童主体の運動に関する活動を通して、運動好きの児童を育てる。</p>	
<p>指標</p> <p>令和 7 年度の教育アンケート（児童用）における「運動がすきですか」の項目において肯定的な回答をする児童の割合をどの学年においても 80% 以上にする。（昨年度高学年ににおいて 80% を下回るクラスが見られた）</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の達成状況の結果と分析</p>	

次年度への改善点

大阪市立弁天小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【学びを支える教育環境の充実】</p> <p>学校園の年度目標</p> <p>○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を利用した日数が、年間授業日の 50% 以上にする。（ただし、事務局が定める学校行事等 ICT 活用が適さない日数を除く）</p> <p>○「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間の上限に関する基準 2 を満たす教員の割合を 92% 以上を維持する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	達成状況
<p>取組内容①【6 教育 DX（デジタルトランスフォーメーション）の推進】</p> <p>情報活用能力一覧に沿って授業を行い、ICT（パソコン等）を活用した教育の推進を図る。</p> <p style="text-align: right;">（ICT を活用した教育の推進）</p>	
<p>指標</p> <p>教育アンケート（児童用）の「日々の学校活動の中で学習者用端末（こころの天気を含む）を活用している」の項目において、肯定的な回答を行う児童の割合を 85% 以上にする</p>	
<p>取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</p> <p>会議や研修会のもち方を工夫するとともに、週 1 回ゆとりの日を設定し、18 時までには退勤できるようにする。また、長期休業中に学校休業日を設ける。（夏季休業 5 日、冬季 2 日）</p> <p style="text-align: right;">（働き方改革の推進）</p>	
<p>指標</p> <p>「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 2 を満たす教員の割合を 92% 以上を維持する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の達成状況の結果と分析	
次年度への改善点	